

AIAA 衛星通信フォーラム 2010年度年次総会報告

JFSC事務局長
福地 一

1 はじめに

AIAA衛星通信フォーラム(JFSC)の2010年度の総会が以下の日時、会場で開催された。

- (1) 開催日時:平成22年6月1日(火) 14:00~17:00
- (2) 開催場所:首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス
- (3) 議事等の事項

Part 1 ミニシンポジウム「衛星通信と安全保障」

Part 2 総会議事

- ① 2009年度活動報告
- ② 2009年度会計報告及び監査報告
- ③ ICSSC 開催計画
- ④ 2010年度活動計画及び予算計画の審議
- ⑤ 2010年度役員体制の確認

2 総会審議等の概要

2010年度の年次総会に先立って、ミニシンポジウム「衛星通信と安全保障」を開催した。このシンポジウムでは、安田靖彦先生からの問題提起に続いて、飯田尚志編集特別顧問からの衛星通信と安全保障にかかる国内外動向と必要な研究について発表がなされ、若菜弘充編集委員長から研究開発動向及び最新の伝送路符号化技術に関する解説がなされた。いずれの問題提起、報告においても、参加者からの活発な意見交換がなされた。結論を出すシンポジウムではないが、方向として日本においても安全保障のための意識と技術開発が必要ではないかとの意見が大勢を占めた。このミニシンポジウムでの発表や意見交換は有意義であるとの認識にたち、エッセンスは、いずれJFSCの発行するSJRの記事としてまとめることとした。

年次総会の議事にあたっては、堀川JFSC会長からのご挨拶のあと、総会成立の確認が行われ、会則第9条の年次総会6項の規定に従い、役員員の2/3以上の出席(役員メンバー18名のうち出席者9名、委任状提出者6名)を持って総会が成立することを確認した。

以下、主な審議内容について述べる。

(1) 2009年度活動報告並びに収支報告

① 活動報告

運営委員会は2回開催(メール審議)され、日本で開催するICSSC2011の方針、総会開催に関する審議等を実施してきた。ICSSC2011については、紆余曲折を経ながらも、2011年



11月28日～12月1日奈良のホテル日航奈良にて、ヨーロッパで例年開催されているKa and Broadband Communications, Navigation and Earth Observation Conference と共催で開催することとなったことが報告され了承された。協賛に関し、10月29日～11月4日のJC-SAT2009及びWSANE 2009に協賛した。

② AIAA Space Japan Review (SJR) の発行

若菜SJR編集委員長からAIAA Space Japan Review (SJR) 編集委員会活動について報告が行われた。SJRは昨年度と同様の頻度で、2か月に1回、日本語と英語で発行し、7刊を発行した。

③ 2009年度収支報告および監査報告

浜本財務委員長から収支報告、松藤監査委員(代理報告)から監査報告が行われ、いずれの報告も承認された。

(2) 2010年度活動計画案及び予算案

これまでと同様に、SJRの発行、関連研究集会への協賛など2010年度の活動計画案について説明が行われ、了承された。特に、2010年度は、ICSSC2011の日本開催に向けての具体的な活動を進めることとした。予算案は、例年通りの、SJR編集発行経費等に加え、ICSSC2011のポスター作成・企画の外注経費を追加している。この予算案についても、了承された。

(3) 役員及び運営委員の交代

2010年度の新役員について、堀川会長の任期満了に伴い、福地事務局長を会長、若菜編集委員長を事務局長に推薦する案が提出され、承認された。新編集長については、人選を進めるが、当面若菜新事務局長の兼務となった。さらに、所属機関の都合による委員の交代等が提案され了承された。

(4) その他審議

SJRの国際動向の記事「世界のニュース」を長年にわたって作成していただいた、NICTの磯貝氏のこれまでの貢献に対してJFSCからの感謝状を堀川会長から贈呈することとした。

最後に、すべての議題について承認がなされたことを確認し、2010年度のJFSC総会を閉会した。■

